

TAD のベスト版 コレクション+（プラス）

—あなたならどう見る？—

開催および一般前売り券販売開始のご案内

富山県美術館では、2020年9月19日（土）～11月3日（火・祝）の間、企画展「TAD のベスト版 コレクション+（プラス）—あなたならどう見る？—」を開催します。一般前売り券は8月18日（火）より販売します。皆様にはご取材および広く告知へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本展は、当館を代表する収蔵作品を過去最大規模で紹介する展覧会です。

当館は前身となる富山県立近代美術館時代より、20世紀美術の優品を数多く収集し、コレクションの充実ぶりは全国的に知られています。

今回、中でも知られた画家、パブロ・ピカソの当館蔵の作品を全点同時展示するとともに、当館を代表する収蔵品を中心に、展示する機会の少ない作品なども含め、過去最大の規模で収蔵作品をご紹介します。

また本展では、異なる分野で活躍する方々とコラボレーションを行う展示コーナーを設置します。アーティストの開発好明氏、アートテラーのとに〜氏、美術批評家の林道郎氏、作家の山内マリコ氏の4名による、作品の新たな見方・魅力をお楽しみください。

【開催概要】

展覧会名： TAD のベスト版 コレクション+（プラス）—あなたならどう見る？—

開催日： 2020年9月19日（土）～11月3日（火・祝）

休館日： 毎週水曜日

開館時間： 9:30～18:00（観覧受付は17:30まで）

会場： 富山県美術館 2階展示室1,2,3,4

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当：広報に関して：川浦（広報）
展覧会に関して：遠藤、麻生（普及課）湯佐（学芸課）

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US



観覧料： 一般前売り 700 円、当日一般 900（700）円、大学生 450（350）円

※高校生以下無料。（ ）内は 20 名以上の団体料金。

※一般前売り券の販売は、8 月 18 日（火）～9 月 18 日（金）まで

【一般前売り券販売所】富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビなど
※本展覧会提示により、コレクション展もご覧いただけます。

主催： 富山県美術館、富山新聞社、北日本放送

【本展の見どころ】

①富山県美術館（TAD）収蔵の選りすぐりの作品を、過去最大規模で展示

富山県美術館が収蔵する約 16,500 点の作品の中から、ピカソやミロ、シャガールなど、当館を代表する作品を筆頭に、これまでご紹介する機会の少なかった作品も含めて、2 階展示室全て（展示室 1・2・3・4）を使用して展示します。この規模での収蔵作品の紹介は、開館以来初めてとなります。

②TAD 収蔵パブロ・ピカソ全作品展示

当館は、世界的に有名な 20 世紀を代表するアーティスト、パブロ・ピカソの絵画作品を 4 点、版画作品を 3 点収蔵しています。絵画作品の数は、公立美術館としては突出しており、当館の収蔵品だけでも、ピカソ芸術の特質である画風の変遷を辿ることが出来ます。本展では、当館収蔵の全ピカソ作品を紹介する展示コーナーを設けます。

③4 名のゲスト・キュレーターとのコラボレーション

当館選りすぐりの作品をご紹介するのに加え、本展では異なる分野でご活躍の 4 名をゲスト・キュレーターにお迎えし、当館の収蔵作品を独自の視点でご紹介いただく展示コーナーを設置します。ゲストは、アーティストの開発好明氏、アートテラーのとに～氏、美術批評家の林道郎氏、作家の山内マリコ氏の 4 名です。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20
tel：076-431-2711 fax：076-431-2712
メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当：広報に関して：川浦（広報）
展覧会に関して：遠藤、麻生（普及課）湯佐（学芸課）

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US



富山県美術館
アート & デザイン

【コラボレーションゲスト紹介】

かい はつよし あき

開発 好明（アーティスト）

多摩美術大学非常勤講師。2006年に「ベルリン-東京、東京-ベルリン」（ニューナショナルギャラリー、ベルリン）、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、2019年に「あそびのじかん」（東京都現代美術館）に出品。2016年に個展「開発好明：中二病」（市原湖畔美術館）開催。観客参加型の作品を多く制作している。



とに〜（アートテラー）

美術の魅力をわかりやすく、かつ面白く伝える日本でただ一人の「アートテラー」。芸人時代に培った話芸と笑いのセンスで独自のトークガイドを各地、各美術館で実施している。雑誌、ラジオ、テレビなどメディア出演多数。



©Shingo Kanagawa

はやし みち お

林 道郎（美術批評家）

上智大学国際教養学部教授。主な著書に、『絵画は二度死ぬ、あるいは死なない』（ART TRACE 2003-09年）『死者とともに生きる一ボードリヤール「象徴交換と死」を読み直す』（現代書館 2015年）、『静かに狂う眼差し—現代美術覚書』（水声社 2017年）。



山内マリコ（作家）

『ここは退屈迎えに来て』（幻冬舎 2012年）で作家デビュー。主な著書に、『アズミ・ハルコは行方不明』（幻冬舎 2013年）、『あのこは貴族』（集英社 2016年）。近著に『山内マリコの美術館は一人で行く派展 ART COLUMN EXHIBITION 2013-2019』（講談社 2020年）。FM とやま「山内マリコのオクケイトーク」ではパーソナリティを務める。



お問い合わせ

富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20

tel：076-431-2711 fax：076-431-2712

メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当：広報に関して：川浦（広報）

展覧会に関して：遠藤、麻生（普及課）湯佐（学芸課）

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US



富山県美術館
アート＆デザイン

TAD のベスト版 コレクション+（プラス）—あなたならどう見る？— 広報用画像一覧

写真①	写真②	写真③
		
写真④	ゲスト写真について	
	※各ゲストの写真もお貸出し可能です。各ゲストの写真をご希望の場合は、申請書の空欄にその旨ご記載ください。	

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して : 川浦（広報）
展覧会に関して : 遠藤、麻生（普及課） 湯佐（学芸課）

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US



TAD のベスト版 コレクション+（プラス）—あなたならどう見る？— 広報用画像申込書
FAX 076-431-2712 /E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■別紙記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名		E-mail:	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
記載企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像（□にチェックを入れてください）

広報用画像一覧・掲載時のキャプション			
☐	①アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 《マンジの肖像》（1901 年）	☐	②ジャクソン・ポロック 《無題》（1946 年）
☐	③藤島武二 《山上の日乃出》1934 年	☐	④「TAD のベスト版 コレクション+（プラス）—あなたならどう見る？—」ポスター

※その他、美術館外観等の写真が必要な場合は、下記空欄にご記載ください。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して : 川浦（広報）
展覧会に関して : 遠藤、麻生（普及課）湯佐（学芸課）

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US



富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB 等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像は全図で使用してください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録の DVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して : 川浦（広報）
展覧会に関して : 遠藤、麻生（普及課） 湯佐（学芸課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



富山県美術館
アート & デザイン